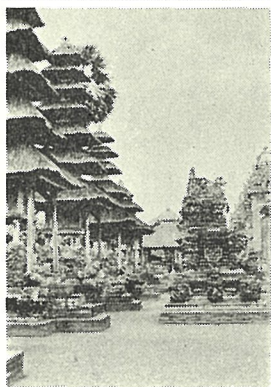


バリ島から スンバ島へ

横山卓雄



バリ島の仏教寺院

インドネシアは日本列島と同様に島国である。一〇〇〇をこえる島々の集合体で形成されるこの国では、風俗・習慣・言語・宗教すべてが島毎にちがっている。バリ島は、ほとんどが回教圏であるこの国の中ではめずらしく仏教徒の住む島である。インドネシアは外国人の団体観光ツアーに一定の制限を加えていて、バリ島とジョクジャカルタ市の二ヶ所にしか入国させない。最近では、日本からのインドネシアツアーが多く組まれるようになったが、団体のツアーは、この二ヶ所のみをめぐるようになっていいる。そういった意味で、インドネシアは日本人の方々にとっては、未知の国といってよからう。幸か不幸か、私のインドネシア訪問は、観光ではなく、地質調査を目的としているので、いわゆる奥地へはいりこむ事が多い。本稿では、一般の人々にはあまり経験できないような体験を、バリ島とスンバ島を中心に書いてみようと思う。

(1) バリ島 デンパサルにて

空港はその国の入口であり、ここでの印象は非常に大切である。あるとき空港で、次便で到着する友人（インドネシア国立科学局の

研究者）を待っていたときのことである。一人の観光ガイドがそばにきて、何をしているのかと聞いた。友人を待っているとインドネシア語で答えたら、彼はびっくりしたように、日本人でインドネシア語が話せるのはめずらしいという。そこで話したことが「日本人には二種類のタイプがある」と彼はいう。このことはインドネシア各地で多くの人々にいわれた。一つは、無あいそでとつきにくく、すぐいばりちらす人、二つは非常に親切でおとなしく、良い人だとのことである。バンドンで会った大学教授で、日本では文部次官にあたる職をしている人もこんなことをいつていた。「日本人には二種類いる。一つはビジネスオンリーで、他に話題がなく、おもしろ味のない人々であり、もう一つは、ビジネスよりも個人的なつきあいが深くなるタイプの人々である。残念なことに前者の数が圧倒的に多いね」

日本人であるわれわれにとっては、非常に痛い言葉だが私自身は何となくわかるような気がするのだ。日本人は個人としての立脚点をもたない。日本では、個人が重要視されず、肩書きでその人を判断することが、非常に多

い。このことをいつも感じているからである。この意味では、日本人は世界でもっともおくれた国民かも知れない。デンパサールの空港でのガイドさんのいったのはややちがった意味であろう。しかし、外国へきたときに感じる不安や淋しさを、怒ったりいばったりすることによってしか表現できない日本人のいることは、やや残念なことではある。いろいろ話をしているうちに、ガイドさんは私のうではなさなことに気がついた。何となく、ひげむしやの男に手をにぎられるのは気持ちが悪い。しかしバリ島では他人の肌に触れるのは親密さの表現なのである。むげに振りはらってはいけない。デンパサールの中心街であるガチャマタ通りの民俗織物店で買物したときにも、オバサンや若い女の店員にうでをつかまれて困ったことがある。これも現地語を使える利得であろう。アジアで現地の人と心のふれあいを求めるならば、現地語を話すことが必須条件だと思う。具体的には書けないのが残念だがインドネシアだけではなく、タイ・インド・アフガニスタンなど、いくつかの国々でも、その思いは強かった。もう一つ、どうしても書いておきたいことがある。

る。空港で非常に異和感のあるのは日本人の若い女性のホットパンツ姿である。インドネシアでは宗教上、肌をだすのは禁止されているといつてよい。そういう世界で数ヶ月生活していると、我々にとってもホットパンツ姿は異様なのである。現地の人々は苦々しく思っているという。西洋人は別の人種だが、同じアジア人の日本人があんな姿でという。いわれないと気づかないがこれも大切なことだと思う。

(2) バリ島からスンバ島へ

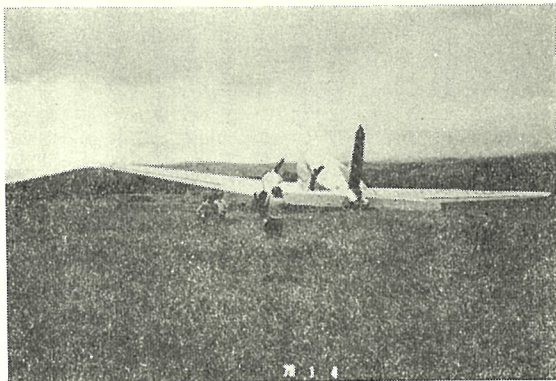
スンバ島は、バリ島から飛行機で数時間(一〜二時間)の距離にある小さな島である。日本では、*イカッタ*と呼ばれるカスリの織物の産物として有名である。昨年一月のことだったと思うが、デンパサールからスンバ島へ行こうと思って、首都ジャカルタで飛行機の予約をしにいった。するとジャカルタでは予約できないとのことである。フライトの飛んでいる日(曜日)を聞いても、わからんという。我々のように、交通公社で国中のキップの予約できる国に住んでいる人間にとっては、想像を絶することである。何といつて

も、飛行機の予約なのだから。

しかたがないのでとにかく正月の四日にバリ島までいった。バリの空港で聞いたところ明日飛行機がとぶとのことであった。一行三人の予約をしておいたのだが、急に予定を変えて、翌日四人でのはしと頼んだときのことである。「座席はあいているが、のせられるかどうかからんよ」との答えである。そこで四人目の人の体重を聞かれた。理解に苦しんだのだが。

結局OKがでて飛行機にのるときに、その理由がわかった。飛行機が小さい(DC3)ので、荷物の重さと人間の重さに制限があるわけである。荷物の重さの集計が終つてから、余分に一人のせることをきめたわけである。

DC3は約三〇人のものであり、DCタイプの名機として、数十年前に有名だった飛行機である。ちょうど、高度計をもっていたので、飛行高度を測つてみたら、三五〇〇〜三七〇〇mのところをとんでいく。飛行機内で高度計が使えるのは、気密になっていないくて、外界と空気が自由に交換されるからである。このことは、空港で飛行機が上昇しはじ



空港で、滑走路からとびだして傾いた DC 3

めてすぐ気がついた。足もとから冷やかな空気が吹きこんでくる。Natural air condition だと友人と笑ったことを思いだす。もう一つ、半袖シャツで寒くてふるえていたことも思いだすのだが。

スンバ島の空港に着陸するときは大雨だった。滑走路は草原であり、ほ、そう、されていない。ブレーキがきかないので着陸に失敗し、

滑走路を約一四〇mほどはみだして止まった。乗っている我々は、おきるまで全然わからないので、恐怖感はまったくなかったが、大雨の中で、約一mの高さの草の中にとび降り（タラップなし）で、ふり返ってみると、あと一〇mほど飛行機がすべったら、家ぐらいの大きな岩に衝突したはずだったことがわかり、そのときゾッとした。我々は、その空港でおきる予定なのだが、フライトは一時間後に出発するはずだという。あとで聞いたのだが、出発したのは翌日の午後だったそう、雨の草原で一昼夜以上、乗客はどうしたのだろうか、と疑問に思った。というのは、その空港には小さな小屋（四間×五間）しかなく、午前八時についたのに、バスがきたのが十一時、四四kmはなれたワイカプバという町（宿泊地）についたのが午後四時であったからである。

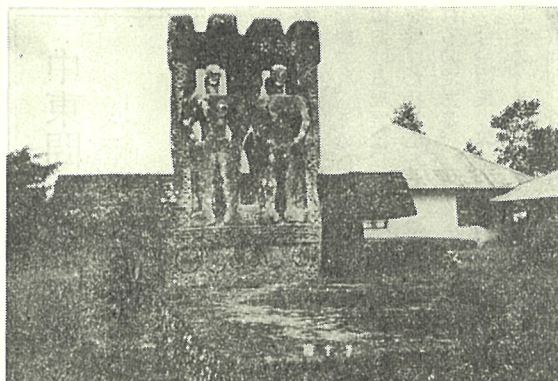
(3) スンバ島にて

バンドンで研究所の人々と話をしていただき、スンバ島へ行くと、トウモロコシとタロイモと馬肉しか食べられないぞとおどかさされた。正直なところ、研究所員の誰も行つた経



スンバ島の人々

験がないという。ワイカプバについて、町で唯一の宿にはいったら、半年ほど前まで日本人の若い女性が来ていたという。どこへいっても日本人の足跡はみつかる。これは日本人のバイタリティーを示すものであらうと思えてうれしかった。宿の食事は非常によかった。ニワトリをしめて、その肉を料理して出してくれる上に、米のめしである。ただビー



巨石文化といわれる王様の墓（スンバ島中央部）

ルにはびっくりした。ビールを頼んだら古いものしかないという。もって来てもらったら王冠のふちがさびている。あけてのむと気がぬけている上に、やや変った味がする。あたたかいので、ビールのオンザロックをするため、氷がないかと聞いたら、あるけど甘い水だという。何かと思ったら、ようするにアイスキャンデーである。結局アイスキャンデー

にビールをかけて飲んだが、決して変ではなかった。

スンバ島は巨石文化で有名であり、特に、大型の墓をつくることで知られている。島の地面のほとんどが石灰岩でできているので、それを使っている。どうしてこの島にのみこうした巨石文化が発生したのか興味深い。一方、すべてに書いたが、スンバ島は「イカト」と呼ばれるカスリの織物で有名である。ところがイカトという言葉は現地では通じない。これはインドネシア語の「しばる」という意味なのだが、国内では通じないのに、インドネシア産のカスリが外国ではこの名で知られている。これも何となく妙な話であった。ワイカプバはスンバ島で二番目の大きな町である。一番大きいのがワインガプーというのだが、二つの町の距離が道路ではかつて一八〇kmある。これを我々は一〇時間で走った。途中五台のトラックにすれ違った（すれちがったのはこの五台だけで、他の車は通ってない）がすべて三菱の車であった。ワインガプーのホテル（ここにはホテルがある）では、夜になるとイカトを売りに、現地の人が集ってくる。はじめ一万二〇〇〇ル

ピア（約四〇〇〇円）といていたものが、結局三〇〇〇〜二五〇〇ルピアで買える。本人は損だといっていたが、明日どうしても金があるのだそうだ。本当かどうかはわからないが、やや気がひけたのも事実である。

(4) おわりに

こんな話は山ほどあって、書ききれものではない。この原稿では、インドネシアの文化や自然について書くべきかなと思ったが、こんな文章になってしまった。終りのない話なので、このへんで筆をおきたい。紙面があれば、ジャワ原人の産出したトリニールの訪問記や私の仕事の内容についてもかきたかったのだが。

（大学工学部助教授）